

徳島県立文学書道館 文学特別展

竹宮恵子 カレイドスコープ

50th Anniversary

2018 **8.11** (土・祝) ~ **9.24** (月・振替休日) 9:30 ~ 17:00

休館日/月曜 (ただし 8/13、9/17、9/24 は開館し、9/18 は休館)

観覧料/一般 510 円 (400 円)

高校・大学生 350 円 (280 円)

小・中学生 250 円 (200 円)

()内は 20 人以上の団体割引料金

高齢者(65 歳以上)と各障がい者手帳をお持ちの方は半額

小・中・高校生は、土・日・祝日・夏休み期間中は無料

会場/徳島県立文学書道館

〒770-0807 徳島市中前川町 2 丁目 22-1

☎088-625-7485 FAX 088-625-7540

ホームページ <http://www.bungakushodo.jp>

主催/徳島県立文学書道館

特別協力/トランキライザープロダクト

協力/新潮社、北九州市漫画ミュージアム

後援/徳島新聞社、四国放送





「ソルジャー・ブルー」(『地球へ…』より)

退廃的な生活を送る美少年ジルベールと正義感にあふれた少年セルジュを軸に、少年愛、近親相姦などのタブーに踏み込んだ竹宮恵子の『風と木の詩』(1976〜84年)。少女たちはもちろん河合隼雄や寺山修司などの知識人からも高く評価され、少女マンガの金字塔を打ち立てました。当時を回想した自伝『少年の名はジルベール』(2016年)は、自らの苦悩を赤裸々に告白し、大きな反響を呼びました。また、壮大なSF『地球へ…』やモンゴルの大草原を舞台にした大河ファンタジー『天馬の血族』など幅広い作風で活躍し続けてきました。

故郷徳島での本展は、竹宮の漫画家生活50年の歩みを紹介する全国巡回展の一環として開催するものです。竹宮自身が考案し、微妙な色彩まで再現した「原画(ダッシュ)」や直筆原稿160点、『風と木の詩』の構想ノート、萩尾望都らと共同生活を送った「大泉サロン」の復元模型に加え、徳島ゆかりの作品など当館でしか見られない作品も展示します。



竹宮恵子 (たけみや・けいこ)

1950年、徳島市生まれ。67年「COM」に投稿した『このつの友情』が佳作入選。翌年、城東高校3年のとき『週刊マーガレット』の新人賞に『リンゴの罪』が佳作入選してプロデビュー。70年代初頭に「大泉サロン」で研鑽を積んだ。78年に星雲賞コミック部門、80年に小学館漫画賞、2012年に日本漫画家協会賞文部科学大臣賞を受賞。14年には紫綬褒章を受章した。2000年から京都精華大学マンガ学科専任教授となり、14〜18年、同大学学長を務めた。

関連イベント

講演会「マンガと向き合う50年」

○8月11日(土・祝)14:00〜15:30 *先着200人

講師／竹宮恵子(漫画家)

朗読会「竹宮恵子著『少年の名はジルベール』を読む」

○8月12日(日)14:00〜15:00 *先着200人

朗読／浅香寿穂(劇塾マデラー主宰)

○申し込み方法

はがき・FAX・メールのいずれかに「竹宮恵子講演会」または「竹宮恵子朗読会」と明記の上、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記入し、下記までお申し込みください。当館1階受付でも申し込みます。

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1 県立文学書道館
FAX 088-625-7540 メールアドレス kotonoha@bungakushodo.jp



『風と木の詩』のクロッキーノート。発表の7年前から構想を描いた



徳島大学時代を題材にした『つばめの季節』の扉絵。展示は徳島会場のみ



「草原の花」(『天馬の血族』より)

交通アクセス

■JR徳島駅から

徒歩(約15分)

JR徳島駅西側のポッポ街を抜けて右折。踏切と助任川を越え、3つめの信号交差点を右折して約300m。徳島中学校東隣。

バス

徳島市営バス 7番乗り場「川内循環線(右回り)」に乘车。
「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩で約5分。

徳島バス 2番乗り場「前川経由」に乘车。
「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩で約5分。

タクシー・自動車(約5分)

国道192号線、藍場町交差点を北進。助任川を越え、4つめの信号を右折して約300m。

■高速道路から

徳島インターチェンジから車で約15分。

■駐車場

当館北側にあります(43台、大型バス2台)。

